


令和6年度 第1回学校運営協議会議事録

日 時	令和6年4月24日（水） 14：00～15：30
開催場所	下野市立南河内第二中学校 会議室
参加者	<p>〔学校運営協議会委員〕</p> <p>おおもり ゆきこ かねこ ゆき こそぎ まりこ はやし こういち やまだ ちあき 大森 由貴子 金子 友紀 小杉 満理子 林 宏一 山田 千秋</p> <p>よとりやま のりこ たざわ こういち なかざと あつし 世取山 紀子 田澤 孝一 中里 篤</p> <p>〔地域学校協働活動推進員〕</p> <p>うえの やすひさ 上野 保久</p> <p>〔事務局〕</p> <p>たかやま やすこ 高山 靖子</p> <p style="text-align: right;">(10名)</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校長あいさつ 2 任命書交付・自己紹介 3 地域学校協働活動推進員の紹介 4 学校運営協議会の趣旨等の確認（教頭） 5 会長・副会長の選出 6 今年度の学校経営の基本方針の承認（校長） 7 パワーアップアクションプランについての提案（地域連携教員） 8 今年度の学校運営協議会年間計画について（教頭） 9 協議並びに情報交換 10 連絡・その他（事務局）
議 事	<p>高山</p> <p>・ただ今から令和6年度の、第1回学校運営協議会を始めます</p> <p>【1 学校長あいさつ】</p> <p>田澤</p> <p>・みんな、こんにちは。本校勤務3年目になります。13年前に教員として2年間務めました。そのころに比べると生徒数は約半数で、今年は249名です。昨年度から今年にかけて約30名減っており、特に女子の数が非常に少ないです。1年生は73名ですが、女子は29名しかいません。そのような状況ですので、部活動の運営が難しい部もあり、女子テニス部は現在3年生が2名ですので、夏の大会終了後に廃部になる予定です。子どもたちは素直な生徒が多く、昨年度の30周年記念行事や文化祭でも一生懸命活動し、地域の方の協力もありまして、人数は少ないですが、大変盛り上がりました。学習の方もがんばっている生徒が多いので、それをさらに伸ばしていけるようにと、先生方にも話をしました。本日は、年度初めの学校運営協議会と</p>

	<p>なりますが、みなさんから貴重な意見をいただき、今後の学校経営に生かしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
高 山	<p>【2 自己紹介】</p> <p>・それでは、第1回ということで自己紹介をお願いします。</p> <p><1人ずつ自己紹介></p>
高 山 上 野	<p>【3 地域学校協働活動推進員の紹介】</p> <p>・続いて、地域学校協働活動推進員の上野先生からお願いします。</p> <p>・地域学校協働活動推進員の上野と申します。緑小と祇園小と二中と南河小中の4校の学校運営協議会に参加して、それぞれがうまくつながれるように何かお手伝いをするという役割です。校長先生が示される学校教育目標の実現に関わり、めざしているところに到達できるような学校運営協議会になるように知恵を絞っていきたいと思います。ちなみに私は7年目になりまして、何か形にできればいいなと毎年思っているのですが、なかなかできなくて…、今年はがんばりますのでよろしくお願いいたします。</p>
高 山	<p>・ありがとうございました。言い遅れましたが、秋元史子さんと坂倉司さんにも学校運営協議会の委員をお願いしているのですが、今日は都合がつかず欠席になっています。ここで今年度から新任で委員になられました山田千秋様に代表して任命書を受け取っていただきます。</p> <p><任命書の交付></p> 
高 山	<p>【4 学校運営協議会の趣旨等の確認（教頭）】</p> <p>・市の学校運営協議会の運営マニュアルの3ページをご覧ください。学校運営協議会は、「地域に開かれた学校」から一歩前進して、「地域とともにある学校」へと転換していくことをめざしています。地域学校協働活動推進員の上野保久先生に、コーディネートいただきながら、学校と地域をつないでいく役割を担っていただくということになります。</p>
高 山	<p>【5 会長・副会長の選出】</p> <p>・委員の皆様の中から会長・副会長を選出していただくことになっていますが、今年度はいかがでしょうか。</p> <p><会長：小杉さん、副会長：林さんに決定></p>
高 山	<p>【6 今年度の学校経営の基本方針の承認（校長）】</p> <p>・今年度の学校経営の基本方針につきまして、校長の方から説明させていただきます。</p> <p><学校教育目標全体構想図></p>

田 澤	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の学校教育目標ですが、「人間性豊かで、意欲あふれる二中学生」ということで、その中に「自ら考え学ぶ生徒」「思いやりのある生徒」「体力と気力をきたえる生徒」の3つを柱としまして、知・徳・体の調和のとれた教育で「生きる力」の育成を目標としています。その背景には下野市や下都賀地区としてめざす教育や栃木県の教育振興基本計画などがありまして、それらを参考にしながら進めていくということになります。この学校教育目標を達成するために、6つの学校経営方針を掲げています。1つめは、「特色学校づくりに努める」です。2つめの「学ぶ楽しさを実感できる授業実践に努める」は、先ほどの「自ら学ぶ」ということで、「知」の部分になります。「ふれあいの喜びを実感できる学級・学年・学校行事を実施する」は、学校行事等を通して豊かな心を育てるということです。「健康で豊かに生きる喜びを実感できる学校生活をめざす」は、たくましくがんばりぬこうということです。「家庭・地域とのつながりを実践できる教育活動に努める」は、学校運営協議会の皆様にも関わっていただきたい部分になります。地域とともにある学校ということで、二中学区で良かったと思えるような学校運営をめざしたいと思います。「教育専門職としての職能向上に努める」は、教員に対する目標ですが、しっかりとした知識や技能を備えた教員として、子どもたちの前に立ってほしいと思います。6つの学校経営方針の前に「すべての生徒が安心して学べ、個々の学力や体力、人間性をさらに高められる教育を実践し、地域とともにある二中を目指します」とありますが、小学校で培ったものを中学校でさらに高めたいということでもあります。生徒、保護者、地域、ここに勤めている教職員が、二中で良かったと思える教育の実践をしたいということが基本的な考え方になります。 ・次に二中での教育を通して目指してほしい、5つの教師像が掲げられています。まず、「生徒一人一人に教育的愛情をもち、生徒の良さを引き出せる教職員」ということで、生徒の持っている力を高めて引き出せる教職員になってほしいと考えています。「思いやりと誠実さがあり、自分の持ち味を発揮できる教職員」、つまり、先生方の持ち味や得意な分野を発揮しながら子どもたちと一緒に教育活動に取り組んでいくということです。「向上心があり意欲的に研修し、実践力を身に付けた教職員」は、先ほどの学校経営方針とも重なりますが、教職員には、しっかり研修して力をつけてほしいと思います。「自他の生命・人権を尊重し、誇りと自信を持って活動する教職員」ということで、人権意識は今、非常に重要なものになっていますので、しっかり勉強し、生徒の人権を尊重して指導できる教職員であってほしいと思います。最後は、「保護者や地域とつながり、信頼される教職員」を目指してほしいということです。そのような教職員が関わって、子どもたちにはどのような姿になってほしいかというのが、次の4つの目指す生徒像になります。これは、小中一貫
-----	---

教育、つまり小学校から中学校の9年間でこのような姿になってほしいということ
で示したもので、小学校でも同じような内容になっています。1つめは、「主体的に
考え、学び合いを通して互いに高め合える生徒」ということで、自分でしっかり考
えることはもちろんですが、学び合いを通してお互いに高め合える生徒になってほ
しいということです。「思いやりの心を持ち、自他を大切にできる生徒」では、自分
だけでなく他人も大切にできる生徒になってほしいということです。次に「心身の
健康に関心を持ち、体力向上に励む生徒」ということで、体や心の健康がなければ、
何事に打ち込むのも難しいということで、しっかりと心身を鍛えてほしいと思いま
す。4つめは、「社会に貢献し、地域に主体的に参画しようとする生徒」ということ
です。本地域の特色としてこの地域に長くとどまる生徒が少ないということがありま
すが、この地域に愛着を持ち、若いときは外に出ていたとしても、最終的には戻っ
てきて、地域に貢献しようという心を持った子どもたちが育ってくれれば、さらに
地域も盛り上がっていくのではないかと思います。

- ・経営方針の内容をくわしく示したものが、次の具体目標と達成に向けた方策になり
ます。二重線の部分が本年度の重点目標です。1番上の「授業の目標の明確化と振
り返りの定着」は、目標を明らかにし、授業の最後に振り返りをして、今日の授業
で何が身についたのかを実感できるようにしたいということです。また本年度は小
中合同で、「互いに聴き合い伝え合う、学び合いのある授業の工夫」に取り組んでい
くということで、特に相手の意見や考え方を聴くというところをどの教科でもしっ
かりやり、聴いた上で自分の考えを深め、発表したりすることをできるようにする
ということです。続きまして「特別支援教育の視点に立った組織的な教育相談の推
進」ということで、特別支援教育の考え方を取り入れて、それを教育相談でも生か
して、子どもたちの状況を把握しながら生徒指導や学習指導につなげていきたいと
考えています。「読書活動の充実による読書の奨励」ですが、実は、昨日、子どもの
読書活動優秀実践校として、東京で文部科学大臣表彰を受けてきました。栃木県で
は4つの団体が選ばれて、中学校は本校だけです。(拍手) 昨年度から図書館に
配架する本を、子どもたちが検討して購入するという選書活動を始めまして、その
活動も認められ、評価されたということになります。図書費の方も市の方からの予
算の他に、PTAからの予算もありまして、それらを有効に活用させていただいて
います。続きまして、「ねらいを明確にした学校行事や社会体験活動の工夫」という
ことで、学校行事もねらいを明確に示して、体験活動や行事に取り組まさせていま
す。「義務教育9年間と将来を見通した進路実現への支援」については、キャリアパス
ポートを活用しまして、子どもたちの進路に関する学びを蓄積し、将来にわたって
学び続ける意欲を持たせたいと思います。「SDGsの考えを取り入れた教育活動

<p>高 山</p>	<p>を推進する」については、二中ではずっと進めてきたことですが、今年度は、より前面に出せればと考えています。「ふるさと学習」については、自分たちの住む下野市や栃木県を知る機会をさらに増やして、地域に根ざした学校をめざしていきたいと思います。また、「学級経営力の向上に努める」ということで、何事も教育活動の基盤は学級ですので、先生方にはその経営力の向上に努めていただくということになります。最後に、保護者や地域の方の力をお借りして、地域から信頼され、安心して任せられる学校になるようにということで「保護者、地域と連携・協働し、安心感のある信頼される学校を目指す」と示しています。これらに基づき、昨年度30周年を迎えまして一区切りついたところですが、新たにしっかりと歩んでいけるように学校を運営していきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何かご質問などありましたらお願いします。(質問なし) それでは、ただいま校長の方から説明がありました、学校経営方針につきましてご承認いただける方は、拍手をお願いします。(全員拍手) ありがとうございます。では、承認していただいたということで、この方針に基づいて1年間進めてまいります。それでは、続いてパワーアップアクションプランについて、中里から説明があります。 <p>【7 パワーアップアクションプランについての提案 (地域連携教員)】</p>
<p>中 里</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーアップアクションプランについて説明します。このパワーアップアクションプランは、学校、子ども、家庭、地域が、連携・協働し地域とともにある学校をめざした企画書です。パワーアップアクションプランの赤字の部分が去年と変わったところ、二重丸が重点項目になります。 ・1つ目は、「自ら学ぶ生徒」、つまり学力に関してです。まず、赤字で示してあるように今年度は、「家庭学習の習慣化」に力を入れていきたいと考えています。学校からの便りや授業参観の後のPTA学年部会等の機会を使って、各家庭に呼びかけていきたいと思います。また、今年度は、小中一貫教育研修会の中の学習指導チームでも「家庭学習の定着と充実」を1つの目標としていまして、小中合同で家庭学習に力を入れていく予定です。また、小中一貫教育の大きなテーマが、今年度から「聞いて考える力の育成」になっていまして、授業において、聴き合う活動を通して、学びを深めていけるようにしていきたいと考えています。また、今年度、二中の委員会活動では新たに「学習委員会」を立ち上げました。二中の学力向上をめざして様々な活動に取り組んでいく予定です。 ・2つめは、表の2段目にある「思いやりのある生徒」です。生徒の心を耕すという目的で、本年度も読書活動に積極的に取り組んでいく予定です。先ほどありましたが、本校は、子どもの読書活動優秀実践校として評価され、文部科学大臣表彰を受賞しました。読書については、昨年度の学校運営協議会でも話題になりましたが、

<p>高 山 上 野</p> <p>中 里</p>	<p>「思いやりのある生徒を育てる」という面からも、読書活動の推進に取り組んでいきたいと思います。また、伝統音楽についての話題も昨年度の学校運営協議会で出されましたが、この点につきましても地域の方の力をお借りして、音楽の時間などにぜひ実践できればと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3つめの「体力と気力をきたえる生徒」についてですが、今年度も昼休みに校庭で遊んでいる生徒がたくさんいます。特に1年生は、男女一緒に、みんなでドッチボールをやっており、大きな歓声がいつも聞こえてきます。また、中学生としてはめずらしいですが、鉄棒で遊んでいる生徒が非常に多く、逆上がりをしたり、蹴上がりに挑戦したりしています。若い先生も生徒と一緒に鉄棒をしたり鬼ごっこをしたりと、中学校ではめずらしい光景が見られまして、先生と生徒のいい関係が感じられます。また、小中一貫教育の健康チームという部会があるのですが、そこでは、立腰指導や二中学区体操に小中一貫で取り組むことになっていまして、学区内の小中学校が一体となって、健康と体力の向上に取り組んでいます。中学校が一体となって、健康と体力の向上に取り組んでいます。 ・ 4つめは、「地域とともにある学校」についてです。昨年度から「すぐーる」というデータ送信機能を使い、学校便りや学年便り、保健便りなど、さまざまな便りを各家庭に送信しています。これにより、昨年度の学校運営協議会でも話題になった、子どもから保護者に学校からの通知が渡らないという問題をかなり解消することができたのかと思います。また、コロナ禍も明けまして、昨年度の夏椿祭のように地域の方々や小学生も参加し、地域と一体になった学校行事をより進めていきたいと考えています。また、2年生の社会体験学習では、昨年度は、30ぐらいの事業所にお世話になりました。幼稚園や図書館、地元の小売店、FMゆうがおやJR車両センターなど様々な職種で体験学習を実施できました。今年度も地元の事業所にお世話になることとなりますので、よろしくお願いします。 ・ パワーアップアクションプランについて、ご意見やご質問があればお願いします。 ・ これは、どのように活用されるのでしょうか。地域の方にこれを知ってもらうような方法を考えれば、とても効果的だと思います。学校で取り組んでいることを、地域の方が分かっているならば、「社会体験で協力できることがあるなあ」とか、家庭では「子どもたちが学習に取り組みやすい環境を作ろう」など、それぞれの立場でアクションを起こしてくれると思います。このアクションプランを回覧するとか、地域の方に一部ずつ配るとかすると、いい効果が現れると思います。子どもをよくするためのアクションプランなので、みんなが知っている状況をつくれるといいなあと思います。 ・ 学校内では教室に掲示して先生方や生徒に周知したり、ホームページにも載ってい
-------------------------------	---

田 澤	<p>ますが、なかなか見ていただけないと思います。今言われたように回覧したり配布したりという方法で地域の方にも周知できればと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なつつばき」という校長室通信は、祇園小、緑小に持って行って、各小学校から地区の回覧に載せてもらっています。そこにパワーアップアクションプランも載せていただいたり、保護者の方にもデータで送信したりできるとよいと思いました。また、タブレットを使って子どもたちにも示して全員で共有できるようにしたいと思います。
高 山	<p>【8 今年度の学校運営協議会年間計画について（教頭）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・続いて学校運営協議会の年間計画について、要項の次のページをご覧ください。今日（4月26日）が第1回ということになりますが、第2回は体育祭の日（5月22日）に参観していただき、第3回は、授業参観の日（7月10日）で、授業参観を見ていただいた後に協議、その後、給食試食会、そして5時間目に親子学び合い事業を予定しています。9月18日は合唱コンクールの参観、9月26日は、3校合同の学校運営協議会ということで、参加者は、学校運営協議会の会長さん、PTA会長さん、校長になるのではないかと思います。4回目が夏椿祭（10月26日）の参観、第5回目は、英語でコミュニケーションDAYの日（12月19日）で、その中の1時間をご覧ください、ご協議していただくこととなります。1月26日の6回目は、今年度の学校評価についての報告で、委員の皆様にも意見をいただきたいと思います。そして3月11日の卒業式にも来ていただければと思います。 ・また年間行事予定表が資料にありますので、ご確認ください。また、先ほどの校長からの説明にもありましたが、在籍生徒数の資料をご覧ください。ここにありますように昨年度から30名近く減ってしまっていて、今年度は249名でのスタートとなります。次のページが職員の組織になります。役割の分担などが載せてあります。職員も写真入りで紹介されていますが、今年度新採が1人入りまして、がんばっていますので、見かけた際はやさしく声をかけていただければと思います。
高 山 田 澤	<p>【9 協議並びに情報交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは情報交換ということで、何かあればお願いします。 ・補足でいいですか。令和5年度から6年度にかけて、異動が1名だけでした。学校業務支援員など市の職員の方の異動はありましたが、県費負担教職員の異動は1名だけでしたので、スムーズにスタートができているのかなと思います。 ・今まで土曜日にやっていた行事で、どうしても日程がとれなかった行事として体育祭があり、今年度は5月22日の水曜日に実施します。水曜日は教職員の出張が入らないので、担任が学校にいられます。また、昨年の反省で9月の体育祭だと暑すぎて練習が大変だということで、今年は春に持ってこようということになりました。

	<p>た。しかし、今年度は修学旅行が5月30日からで、6月になると部活動の大会があるので、もう1週間前だと早すぎて練習ができない、また5月の土日は運動部の支部大会がありますので、5月22日の水曜日ということになりました。保護者の皆様には休みをとって来ていただくということになってしまいますが、よろしくお願いします。その代わりに、体育祭よりは体力的に負担の少ない合唱コンクールは9月ということになっています。また卒業式は、例年ですと土曜日に実施していましたが、今年度は入試の合格発表の日が3月12日の水曜日なので、その前日の11日の火曜日ということに市内の校長会で決まりました。6日、7日の入試が終わってすぐ卒業式ですと予行練習の日も取れませんし、3年の先生と生徒で過ごす最後の時間もないうちに卒業を迎えてしまうということになりますので、余裕をもって11日が卒業式ということになりました。このような点が令和5年度と違う点ですので、ご承知おきください。</p>
高山大森小杉	<ul style="list-style-type: none"> ・何かご質問などありましたらお願いします。 ・入試の合格発表の前に卒業式なんですね、栃木は。 ・他の県は違うところもありますね。歴史的な流れもあると思いますけど。栃木は、高校も早いですよね。地方で引っ越しとかもあるので仕方ないと思いますけど。 ・小学校は、授業時間が短くなったりしているんですけど、中学校は同じなんですか。
高山	<ul style="list-style-type: none"> ・おそらく予備時数としてとっていた分を、そんなにとらなくていいということになったのだと思います。
田澤	<ul style="list-style-type: none"> ・予備時数というのがあって、小学校は、それをめいっぱいやらなくてもいいので、その分、子どもたちが早く帰るようになったということです。しかし、中学3年生は予備時数がほとんどないのでそれはできません。1・2年生は余裕があるので、今年度、6時間授業を最後の1週間は5時間授業にしました。1週間といっても4日ですけど、年度末の忙しい時期なので、教職員の負担も少しは軽減すると思います。
上野	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザで学級閉鎖があったりすると、ぎりぎりになってしまったりするんですよね。余裕をもって進めるのは、なかなか大変ですよ。
小杉	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は宿泊学習がなくなりましたが、この後はもうないのですか。
田澤	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で宿泊学習はなくなり、日帰りになりました。今年の1年生は那須ハイランドパークに行きます。遊園地ですが、今は体験学習ができます。乗り物を楽しむだけでなく、3年生の修学旅行でグループ活動があるのでその練習もできます。
金子	<ul style="list-style-type: none"> ・那須ハイランドパークでオリエンテーションをやる大学もありますね。小山の方は1年生がまた宿泊学習をやると聞いたのですが。
田澤	<ul style="list-style-type: none"> ・今費用の面が高くて、スキー宿泊学習だと3万ぐらいですかね。修学旅行ですと今

<p>小 杉 田 澤</p>	<p>年度は7万5千円ぐらいなのですが、来年度は9万円ぐらいの予算になっており、保護者の負担がかなり大きくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都・奈良にこだわらないということはできないのですかね。 ・学年主任の先生方と話すとはやはり中学生のうちに京都・奈良は体験させたいという思いがあります。東京で区が補助を出してシンガポールに行く中学校があったり、九州の方では、修学旅行は10万円以上かかるのは当たり前という学校もあるみたいで地域によってかなり違いがあるみたいです。栃木県では、今言った9万円を超えてくるのは、なかなか大変かと思いますので、将来的には行き先を再検討する必要も出てくるのではないかと思います。本校でも3年前にコロナの影響で金沢に行ったこともあります。今北陸新幹線も延伸したので、そちらの方への誘致もさかんになってきています。令和7年度は、初日に大阪万博に行く予定ですが、それで費用が上がるわけではなく、ほとんどは宿泊費の高騰です。万博は団体割引があり、中学生は、1000円で入場できます。また、修学旅行生専用のパビリオンを設けるので、そこは必ず見られるということで、学年主任とも相談して万博見学を決めました。
<p>世取山</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私も修学旅行で大阪万博に行きました。外国の方がたくさんいらして、英語でお話ができるというので、今でも鮮明に覚えています。
<p>大 森 田 澤</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の終了時刻は、年間を通して18時ということですよ。 ・部活動の終了時刻を昨年度の3月に見直しまして、夏期シーズンも17時45分部活動終了、18時完全下校に変更しました。これによって教員の携わる時間が最大で45分短くなるということで、その分早めに業務にあたれるということになります。部活動の市の方針でも、平日は2時間程度ということになっていますので、ほぼその時間内に収まっています。 ・留守番電話機能が市内全部の学校に配備されまして、中学校では、完全下校した1時間後に留守番電話機能に切り替えることになります。教職員が集中して仕事をして、残業を短くして帰れるようにしています。国の方では教員の1か月の残業時間は45時間以内としていますが、今までは、多い人は200時間ぐらい残業していました。過労死ラインが80時間と言われていましたから、その2倍以上ということになります。しかし、昨年度の土日を除く平日の残業時間が、本校は47時間まで減ってきましたので、かなり改善されてきているのかと思います。土日の部活動が入るとプラス20時間ぐらいになるのですが、昨年度から部活動の地域移行を下野市全体で進めていまして、今年度の夏の大会が終わった後、各学校1つか2つの部で、土日の地域移行を始めるということになりました。本校としてどの部活かということとは決定していませんが、それに則って進めていきたいと思っています。下野市として

大 森	<p>は、令和8年度には、すべての部活動を地域移行させるよう進めていますが、なかなか難しいようです。特に文化部の指導者、その中でも吹奏楽の指導者を見つけるのが大変です。吹奏楽部は、運動部並みに、あるいはそれ以上に練習時間が長いので、指導者を見つけるのはどの学校でも大変だと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮では、吹奏楽部の高校生が中学生を土日見えています。中学生が高校にきて、そこで高校生に教わっています。石橋高校とかは吹奏楽部が有名ですし、石中生は高校生と練習したりしています。また、高校の定期演奏会の練習を中学生と合同にやったりしているので、吹奏楽部はそのようなのをうまく使うといいのではと思います。吹奏楽の講師を呼んだりすると講師料が結構かかるというもありますし。
田 澤	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方で吹奏楽を教えられる方は、いらっしゃいますかね。この地区ならいそうな気もするのですが。
上 野	<ul style="list-style-type: none"> ・手順としては、どのような手順を踏むのですか。
田 澤	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の方でお願いする人が決まったら、市の方の部活動地域移行コーディネーターという方がいらっしゃいますので、その方に指導者の方と学校の調整をやってもらうことになります。また、土日みてもらう地域の方にはある程度の報酬が出るのですが、令和6年度については、国からの補助金を使って行うので、各家庭での費用負担がないように進めるということです。
高 山	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろとつてを当たっていただいて、お願いできる方が見つければと思います。貴重な意見をありがとうございました。話は尽きませんが、時間になりましたので、第1回の学校運営協議会は以上で閉じさせていただきます。この後もどうぞよろしくお願いいたします。

